

水素政策小委員会・アンモニア等脱炭素燃料政策小委員会の  
新設及び合同会議の開催について

令和 4 年 3 月  
資源エネルギー庁

- 水素・アンモニア等は、燃焼しても二酸化炭素を排出しないため、カーボンニュートラルに必要な燃料であり、エネルギー基本計画等に利活用の必要性や目標が明記されているところ。
- これまで技術開発や実証等への支援を行ってきたものの、2030年の目標やその先を見据えた大規模な利活用を図る上で、現時点では代替する燃料との大きな価格差が存在する中、需要側での大規模調達・供給側での大規模商用投資を促すことが重要な課題。特に水素については、多様な用途が想定される中、様々な実務的課題に係る指摘もある。
- これらの課題の解決に向けた検討に当たっては、水素・アンモニア等の需要・供給両面からの客観的分析、政策的措置を講じる場合の効率性や公平性の視点等が必要であり、その実現可能性の精査も重要。
- このため、総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会の下に「水素政策小委員会」、資源・燃料分科会の下に「アンモニア等脱炭素燃料政策小委員会」を設け、当面は水素・アンモニア等を一体的に検討するため合同開催の形で、審議を依頼することとした。なお、水素、アンモニア等脱炭素燃料、各々の固有課題について議論を行う必要がある場合には、各々の小委員会において議論を行うこととする。